

## 輝

## 自分の力を発揮しての勝利

第25回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳大会  
女子15・16歳400mメドレーリレー優勝

小嶋 美帆さん (三好下)

**天** 会では、いつも自分の力を出せるように、ベストな状態で臨むことを心掛けています。今回の大会は、練習の成果を十分に発揮することができました」と話すのは、今

紹介する小嶋美帆さんです。小嶋さんは、3月27日から30日まで東京・辰巳国際水泳場で開催された第25回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳大会に出場。15・16歳女子の部の400mメドレーリレーに東邦高校のメンバーとして背泳ぎで参加し、見事優勝を飾りました。

ジュニアオリンピックカップ水泳大会は、各種目の標準タイムを切った選手が出場できるレベルの高い全国大会。小嶋さんは、この大会への出場切符を手に入れるため、2月9



## ▶▶▶プロフィール

こじま・みほ 昭和62年生まれの16歳。東邦高校の2年生。中学生のときから各種大会に出場するようになり、東西加茂郡や西三河大会の自由形、平泳ぎで優勝。その後、コーチの勧めで背泳ぎを専門種目に。中学3年生のときには、愛知県中学校総合体育大会の100m背泳ぎで5位に入賞した。

日と10日に日進市の愛知学院大学スポーツセンタープールで開催された愛知県短水路選手権水泳競技大会にエントリーしました。背泳ぎの個人種目と背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ、自由形の4種目を別々の選手が泳ぐ、メドレーリレーに臨み、女子400mメドレーリレーでは、標準タイムを約5秒上回るタイムで優勝。念願だった全国大会への出場を現実のものとなりました。

メドレーリレーに出場できたのは、全国でわずか11チームです。その中で東邦高校は、予選1位のベストタイムを記録して決勝に進出。決勝では、予選タイムには及びませんでした。予選1位が優勝を果しました。「みんなが、ベストを尽くしたことが勝利につながったと思います。自分でもこの大会は、今まで一番の泳ぎができました」と振り返ります。

小嶋さんが水泳を始めたのは3歳のとき。水に顔をつけるのも苦手だったことを心配した両親が、現在も所属するスポーツシテイあいち(東郷町)に通うように勧めたのがきっかけです。「始めたころは嫌いだったプールも、スイミングスクールに通っているうちに、いつの間にか好きになりました」とこり。小学6年生のときには、大会に出場する選手を養成する「選手コース」に入り、ほとんど毎日泳いでいたそうです。

現在、練習は週6日。東邦高校のプールで泳いでいます。普段から10km以上泳ぐ練習メニューをこなし、高校の練習が休みの日も、スポーツシテイあいちで泳ぐことがあるそうです。「高校の練習は厳しいですが、努力するほどに上達するのが水泳です。今後は、レース後半でもばてない持久力や精神力をもっと鍛えて、タイムアップを狙いたい。目標は高校総体出場です」と力強く話します。これからも、さらなる活躍を期待しています。

INTERVIEW WITH YOU

あなたにインタビュー

節約してゐるひと

雨水はバケツなどにためておいて、花の水やりなどに使って節水しています。電気節約では、出掛ける前に照明の消し忘れがないかを必ず確認してから出発するようにしていますね。そのほか、ごみの分別収集をしっかりやるようにして、資源の節約にも心掛けています。



友岡 唯喜さん  
(西一色)

家族全員がそろっているときは、ガスでお風呂を沸かすようにし、1人、2人しかいないときは、ソーラーでお湯を温め、シャワーを使うようにしています。電気については、プラグをコンセントから抜くようにしています。また雨水をためて、花壇の水やりにも使っていますよ。



大田 美里さん  
(明知下)

お水、ガス、電気など、日常生活で節約できるものは、なんでも節約するようにしていますね。お米のとき汁なども捨せずに、お花の水やりに使います。2年くらい前から、太陽光発電を利用するようになって、夏場など電気を多く使うようときは大変助かっています。



柴田 ミチさん  
(三好丘緑)

みよしの文芸

俳句

人生の余白を語り菊根分 久野 也寸志  
 菊根分広げし夢の咲く日待つ 大島 一夫  
 水音も野の一景や春めける 佐藤 博子  
 春めける空港島に工進む 渡辺 信子

短歌

葦の間に水鳥の影いつか消え水面 大島 岡子  
 にきらら夕光あそぶ 大田 春子  
 星影の清しき見れば心和む風邪癒 岡本 君子  
 えて今宵の月呀え渡る  
 手にうけし茶のあたたかみ身うち  
 すぐ冷え冷えてきびし朝の宮居の

狂俳

折シタコ 原田 里秋  
 城跡に佇れば落花の古戦場  
 忍び笑い 神谷 冬花  
 計算通り乗って来る  
 週末 近藤 正月  
 心ゆくまで朝寝やる

次回6月1日号のテーマは

「あなたの健康法は」

広報情報課が皆さんのところへ突撃インタビューに伺いますので、ご協力ください。また郵便や電子メールによる「声」もお待ちしています。(5月12日(月)締め切り)